

令和7年度全国学力・学習状況調査「浜松市の結果（概要）」について

教育センター

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 参加人数・参加校数

学 校	学 年	人 数	学校数 ※分校1校含む
小学校	6 年	6,401 人	96/96 校
中学校	3 年	6,092 人	49/49 校

※人数は、当日実施者のみ。調査項目によって違うため最大人数で表示。

3 調査結果

(1) 教科に関する調査【小学校及び中学校結果数値】

【小学校】		国語	算数	理科
		平均正答率 (%)	平均正答率 (%)	平均正答率 (%)
全国	(国公立)	67.0	58.2	57.3
	(公立)	66.8	58.0	57.1
静岡県 (公立)		66	57	55
浜松市 (公立)		67	58	56

【中学校】		国語	数学	理科
		平均正答率 (%)	平均正答率 (%)	平均 IRT スコア
全国	(国公立)	54.6	48.8	505
	(公立)	54.3	48.3	503
静岡県 (公立)		56	51	527
浜松市 (公立)		57	52	533

※4/17実施値。

※平均正答率は、文部科学省結果提供数値（都道府県・指定都市は小数点以下を四捨五入した数値）による。

※中学校理科のみ CBT 調査で実施。結果の平均 IRT スコアは、500 を基準として各生徒のスコアを算出し、平均をとったもの。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査（肯定的に回答した子供の割合）

※単位は%

①「浜松の目指す子供の姿」に関する調査結果

質問項目	小学校6年生		中学校3年生	
	浜松市 (前回比)	全国 (全国比)	浜松市 (前回比)	全国 (全国比)
自分には、よいところがあると思う	90.3 (+3.7)	86.9 (+3.4)	88.9 (+2.5)	86.2 (+2.7)
将来の夢や目標をもっている	84.3 (▲0.2)	83.1 (+1.2)	71.8 (+2.7)	67.5 (+4.3)
人の役に立つ人間になりたいと思う	96.9 (+0.7)	96.4 (+0.5)	98.0 (+1.3)	96.6 (+1.4)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	82.7 (▲2.6)	81.3 (+1.4)	80.4 (▲1.1)	75.3 (+5.1)
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある	95.2 (+2.9)	93.0 (+2.2)	93.9 (+3.5)	91.6 (+2.3)
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	95.8 (+2.1)	92.2 (+3.6)	95.2 (+1.9)	92.2 (+3.0)
分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	83.7 (+2.8)	81.7 (+2.0)	77.8 (▲2.2)	77.5 (+0.3)
人が困っているときは進んで助けている	93.9 (+2.1)	93.7 (+0.2)	92.1 (+0.7)	90.9 (+1.2)

肯定的に回答した子供の割合が全国に比べて高かった。

特に「自分には、よいところがあると思う（※1）」、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある（※2）」、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う（※1）」の項目について、肯定的に回答した子供の割合が過去最高であった。

※1…指定都市別の調査結果が公表されるようになった平成29年度以降

※2…項目が新設された令和5年度以降

②「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」に関する調査結果

質問項目	小学校6年生		中学校3年生	
	浜松市 (前回比)	全国 (全国比)	浜松市 (前回比)	全国 (全国比)
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	81.5 (▲0.7)	80.3 (+1.2)	77.0 (▲4.1)	77.7 (▲0.7)
学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	86.8 (▲0.7)	84.9 (+1.9)	87.4 (▲1.5)	84.7 (+2.7)
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	80.2 (▲1.4)	79.4 (+0.8)	73.0 (▲5.3)	73.4 (▲0.4)
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う	83.6 (▲0.3)	82.5 (+1.1)	74.7 (▲5.4)	74.8 (▲0.1)

小学校6年生は、肯定的に回答した子供の割合が全国に比べて高かった。中学校3年生は、概ね全国と同程度の水準であった。

肯定的に回答している子供の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られた。

③総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳に関する調査結果

質問項目	小学校6年生		中学校3年生	
	浜松市 (前回比)	全国 (全国比)	浜松市 (前回比)	全国 (全国比)
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	84.3 (+1.8)	82.3 (+2.0)	85.6 (▲2.0)	79.5 (+6.1)
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	82.2 (▲1.7)	80.8 (+1.4)	81.2 (▲4.1)	77.3 (+3.9)
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	90.9 (+0.9)	88.0 (+2.9)	93.0 (▲0.9)	91.5 (+1.5)

8割以上の子供が肯定的に回答しており、いずれの項目についても肯定的に回答した子供の割合が全国に比べて高かった。

④「個別最適な学び」と「協働的な学び」に関する調査結果

質問項目	小学校6年生		中学校3年生	
	浜松市 (前回比)	全国 (全国比)	浜松市 (前回比)	全国 (全国比)
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	85.8 (▲0.1)	83.4 (+2.4)	80.2 (▲3.1)	79.3 (+0.9)
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	93.2 (+1.0)	91.9 (+1.3)	92.9 (▲0.9)	91.9 (+1.0)

肯定的に回答した子供の割合が全国に比べて高かった。

また、肯定的に回答している子供の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られた。

⑤ ICTを活用した学習状況に関する調査結果

質問項目	小学校6年生		中学校3年生	
	浜松市 (前回比)	全国 (全国比)	浜松市 (前回比)	全国 (全国比)
授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、 どの程度使用しましたか ※週3回以上と回答した子供の割合	69.5 (+15.2)	71.7 (▲2.2)	78.6 (+23.2)	76.5 (+2.1)
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を 活用することについて、次のことはあなたにどの くらい当てはまりますか	-	-	-	-
自分のペースで理解しながら学習を進め ることができる	83.0 (▲5.0)	81.3 (+1.7)	ランダム方式で 実施した項目の ため、全体集計 のデータ提供なし	
分からないことがあった時に、すぐ調べ ることができる	89.4 (▲2.8)	89.2 (+0.2)		
楽しみながら学習を進めることができる	86.3 (▲1.4)	85.5 (+0.8)		
画像や動画、音声等を活用することで、 学習内容がよく分かる	88.6 (▲2.2)	88.1 (+0.5)		
自分の考えや意見を分かりやすく伝える ことができる	78.8 (▲2.2)	77.6 (+1.2)		
友達と考えを共有したり比べたりしやす くなる	85.5 (▲2.2)	84.6 (+0.9)		
友達と協力しながら学習を進めることが できる	87.0 (+0.2)	87.5 (▲0.5)		
自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章 を作成する（文字、コメントを書くなど）ことが できると思う	81.9 (新規)	81.8 (+0.1)	86.5 (新規)	83.6 (+2.9)
自分がインターネットを使って情報を収集する （検索する、調べるなど）ことができると思う	90.5 (新規)	89.8 (+0.7)	92.7 (新規)	91.5 (+1.2)
自分がPC・タブレットなどのICT機器を使っ て情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツール などを使ってまとめる）ことができると思う	69.9 (新規)	69.3 (+0.6)	63.7 (新規)	63.3 (+0.4)
自分がPC・タブレットなどのICT機器を使っ て学校のプレゼンテーション（発表のスライド） を作成することができると思う	80.3 (新規)	76.7 (+3.6)	81.0 (新規)	76.6 (+4.4)

前年度までの授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用したと回答した中学校3年生の割合が全国と比べて高かった。

児童生徒のICTを活用した学習状況に関する項目は、全ての項目について概ね全国と同程度の水準であった。

【資料】 教科概要

小学校国語

- 知識及び技能のうち、「情報の扱い方に関する事項」で昨年度に引き続き成果が見られた。
- 記述式の問題では、目的や意図に応じて「精査・解釈」したり、「考えの形成」をしたりすることができた。
- 「話すこと・聞くこと」において、自分がどのような情報を求め、聞いた内容をどのように生かそうとしているのかを明確にして、話を聞くことに課題がある。
- 知識及び技能のうち、「漢字」を文の中で正しく使うことに課題がある。

小国課題 1三(1) 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えること

正答率 浜松 68.6% 全国 71.8%



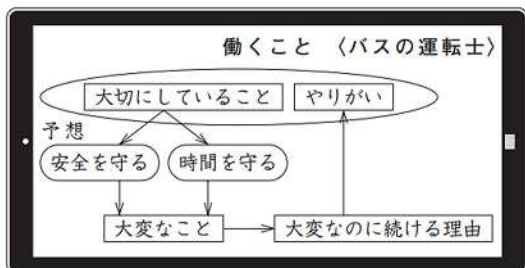
小国問題へ

問題の概要

【インタビューの様子の一部】で小森さんが発言した目的を、【話し合いの様子】や【話し合いの記録】をもとにして捉える。

小森さんがバスの運転士さんに対して、「安全に運転するために、例えばどのようなことを心がけているのですか。」と聞いた意図を捉える。

【話し合いの記録】



【小森さんたちの聞こうとしていること】

私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを聞きたいな。きっと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきっかけにして、「仕事で大変なこと」を聞くことができるかもしれないな。



小森さん

正答

自分が知りたいことをより具体的に知るため。

多くの子供が選んだ誤答

相手が伝えたいことの内容を明確にするため。

分析と課題

小森さんが、相手が伝えたいことの内容を明確にしようとしていると捉えており、自分が知りたいことの内容を具体例を引き出そうとしているという意図を捉えることができなかった。

授業改善のポイント

インタビューをする場面では、自分の質問に対する相手の答えを受け止め、即興的に反応することが求められる。そのため、インタビューをする前に、相手が何に詳しいのか考えて答えを予想したり、自分が知りたいことや疑問に思っていることを明確にしたりして、インタビューの見通しをもつことが重要である。FigJamやオクリンクプラス、付箋等を用いて、インタビューで聞きたいことを出し合った後、目的に応じて整理することで、考えをまとめる際に必定な情報が明確になるため、相手の答えと照らし合わせながら、自分が求める情報を確実に引き出すことを意識できる。

小国課題 2四 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

正答率 浜松 ア 77.7% 全国 81.6% 浜松 イ 70.6% 全国 72.1%

問題の概要

- ・相手の^アこのみ に合わせて、もようを選び、おくることができます。
- ・^イあついで日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。

授業改善のポイント

自分自身の状況をよく見て、漢字学習の取り組み方を考えることが大切である。また、手書きや読書の機会を意図的に設けることも必要である。

➡「令和7年度【小学校国語】」報告書



中学校国語

- 「思考力、判断力、表現力等」の出題された指導事項において、バランスよく資質・能力が育まれている。
- 記述式の問題では、「精査・解釈」したことを発表したり、「考えの形成」をしたりする機会を大切にされた授業改善が引き続き進んでいる。
- 「書くこと」において、読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。

中国課題 4二 読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること



中国問題へ

正答率 浜松 34.6% 全国 30.1% 無解答率 浜松 18.7% 全国 19.1%

問題の概要

手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見つけて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く。

職場体験活動でお世話になった生花店の店長の大野さんへのお礼の手紙を推敲して修正し、修正した理由を書く。

【理由】

文が長いので短くした方がよいから。

【手紙の下書きの一部】

先日、ご協力くださり、さて、昨日は、私たちの職場体験活動に協力いただきありがとうございました。大野さんをはじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしかもっていませんでしたが、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。

正答例

実際に行った修正箇所について、修正した方がよいと考えた理由を適切に書いている。

誤答例

修正した方がよい理由について、説明することはできているが、実際に行った修正では、内容が不足したり、文の内容が変わったりしている。

分析と課題

語句の用法や文章の長さなど、表記上の確かめにとどまり、自分の伝えたいことが相手に伝わるのかといった内容面を考慮して、推敲することに課題がある。書いた文章を推敲する際には、伝えようとするものが伝わるように、表記上の確かめのみでなく、読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える必要がある。

授業改善のポイント

これまで書いた文章について、具体的な相手を想定して読み返し、伝えようとするものが伝わるかどうか、確かめる場を増やす。その際、小学校から学習してきたことや、中学校3年間での学習を見通して、中学校では、読み手の立場に立って整えることを前提とし、以下のことを特に意識させる。

- 1年生：表記や語句の用法、叙述の仕方（文や段落の長さや役割、段落の順序、語順）などを確かめる。
- 2年生：表現の効果（自分の考えを伝えたり印象付けたりする上で、書いた文章の表現がどのように働いているか）などを確かめる。
- 3年生：目的や意図に応じた表現になっているか（題材、資料、文章の種類、論理の展開等はふさわしいか）などを確かめる

これまで、育成してきた資質・能力を発揮しながら文章を整えることができるように、学習環境を整えたり、教師が伴走して支援したりすることが重要である。情報技術が進む社会において、自分の目的や意図に応じて推敲をする意識をもつことが、より重要になってくると考えられる。

➡「令和7年度【中学校国語】報告書」



小学校算数

○簡単な二次元表から数値を読み取ること、平行四辺形をかくこと、台形の意味や性質について理解することなどにおいて、全国と比較すると良好な結果であった。

●単位分数の意味の理解や、その説明に課題がある。

小算課題 ③ (2) 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述すること。

正答率 浜松 23.3% 全国 23.0% 無解答率 浜松 17.1% 全国 15.7%



小算問題へ

問題の概要

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について、共通する単位分数と、 $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く。



ひろとさん

$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 3 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 2 個分です。

もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

正答例

- ・ $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ のもとにする数を同じ数にするとき、もとにする数は $\frac{1}{12}$ になります。
- ・ $\frac{3}{4}$ は、 $\frac{1}{12}$ の 9 個分、 $\frac{2}{3}$ は、 $\frac{1}{12}$ の 8 個分です。

考えられる誤答例

共通する単位分数を用いながら、計算の処理過程を十分に説明できていない誤答例

(例) ・ $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ を通分して計算すると、 $\frac{9}{12} + \frac{8}{12} = \frac{17}{12}$ になります。

・ $\frac{3}{4}$ は $\frac{9}{12}$ 、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{8}{12}$ となるので、 $\frac{17}{12}$ になります。

誤答例の分析と課題

異分母分数の加法において、通分することはできるものの、単位分数の意味の理解が十分でなく、単位分数を用いて説明することができなかった。これについては、③(4)において、異分母分数の加法が出題されており、この問題の正答率は、81.7%であったことから、異分母分数の加法は正しく計算できている。また、算数科に関する質問調査の中には、「どのように考えたかについて説明する活動をよく行っていますか」という設問があり、肯定的に回答している児童の割合が 66.7%と低い。これらのことから、形式的な計算は行うことができるが、単位分数の意味の理解やその説明に課題がある。

授業改善のポイント

異分母分数の加法の仕方について学習する際に、既習である同分母の加法と比較し、分母をそろえる必要があることに気づかせる。その上で、数直線や図を用いて単位分数とは何かや分母をそろえることの意味を確認する時間を設定する。また、共通する単位分数は何か、その単位分数の幾つ分かといった視点を提示し、友達と考えを説明し合う機会を設ける。

このように、異分母分数の加法を形式的に計算するだけでなく、分数の意味や仕組みを理解した上で説明する活動を取り入れることが大切である。

➡「令和7年度【小学校算数】」報告書



中学校数学

○どの領域においても、全国と比較すると良好な結果であった。その中でも特に、データの活用領域における理解や定着が確認できた。

●文字式から意味を読み取ったり、関係を見いだしたりすることに課題がある。

中数課題 6 (2) 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明すること。

正答率 浜松 27.8% 全国 25.7% 無解答率 浜松 24.5% 全国 24.9%



中数問題へ

問題の概要

$3n$ と $3n+3$ の和を $2(3n+1)+1$ と表した式から、連続する2つの3の倍数の和がどんな数であるかを説明する。

結菜さんの式の変形の $3(2n+1)$ から、「連続する2つの3の倍数の和は、3の倍数である」ことがわかります。太一さんの式の変形の $2(3n+1)+1$ から、「連続する2つの3の倍数の和は、どんな数である」といえますか。「～は、…である。」という形で書きなさい。

結菜さんの式の変形

$$\begin{aligned} & 3n + (3n + 3) \\ &= 3n + 3n + 3 \\ &= 6n + 3 \\ &= 3(2n + 1) \end{aligned}$$

太一さんの式の変形

$$\begin{aligned} & 3n + (3n + 3) \\ &= 3n + 3n + 3 \\ &= 6n + 3 \\ &= 2(3n + 1) + 1 \end{aligned}$$

正答例

連続する2つの3の倍数の和は、奇数である。

考えられる誤答例

連続する2つの3の倍数の和は、2の倍数である。

誤答例の分析と課題

文字式を変形した結果が何を意味するか、その意味を読み取ることができていない。また、数学科に関する質問調査の中には、「文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかっていることを理解することができますか」という設問があり、肯定的に回答した生徒の割合は、65.1%と低い。このことから、文字式を用いた説明を読んで書かれていることを理解することに課題がある。

授業改善のポイント

文字式がどのようなことを意味しているか理解するために、生徒の実態に応じて、文字に具体的な数を当てはめてどのようなことが言えるかを確かめることが必要である。また、説明し合う活動を行う際には、相手の説明を聞くだけでなく、文字式を用いた説明など、相手が数学的に表現したことがどのようなことを意味しているか理解することが大切である。そのためには、友達が書いた文字式を用いた説明や図形の証明など、数学的に表現された考えを吟味する時間を設定した上で、交流活動を行うことが大切である。

➡ 「令和7年度【中学校数学】報告書」



小学校理科

○令和4年度に授業改善が必要な視点であった「観察、実験で得られた結果を整理し、具体的な数値を基に、より妥当な考えをつくりだし、表現すること」について向上した。

●「差異点や共通点を基に、新たな問題を見いだし、表現すること」の視点での授業改善が必要である。

小理課題 3 (4) レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見いだし、表現すること。

正答率 浜松 21.6% 全国 29.9% 無解答率 浜松 13.6% 全国 11.4%



小理問題へ

問題の概要

レタスの種子の発芽の結果から、問題文中の人物の気づきを基に、見いだした問題について書く。

たかひろさんたちは、レタスの種子を発芽させようとしています。



たかひろさん

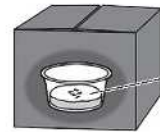
レタスの種子を発芽させようと思って、水、空気、温度の条件を右のようにしたのに、1つも発芽しなかったよ。

水、空気、温度のほかにも、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、右の〈条件〉の中から1つ選んで調べてみた



てるみさん

たかひろさんが行った実験



しめらせた
だっし綿

〈条件〉

- ・水あり
- ・空気あり（種子が空気にふれている）
- ・温度（室温）
- ・日光なし（箱をかぶせている）
- ・肥料なし

てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけました。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。

正答例

（例）レタスの種子が発芽するために、日光は必要なのだろうか。

【正答の条件】

- ① 〈条件〉から、日光または肥料について、1つ選んで記述している。
- ② レタスの発芽に関し、疑問を示す趣旨で記述している。

考えられる誤答例

レタスの種子が発芽するためにはどんな条件が必要なのか調べよう。

【誤答の理由】

問題を見いだす場面において、どの条件に着目して調べればよいか焦点化することができていない。

誤答例の分析と課題

自然の事物・現象との出会いから問題を見いだす場面で、複数の事象を比較することを通して共通点と差異点を整理し、どの条件に着目して調べればよいか考えることができていない。

授業改善のポイント

子供が出会った自然の事物・現象から生じた疑問を、探究する問題として整理し、一人一人が自ら問題を設定して表現できるよう指導する。その際、子供が複数の事象を比較し、共通点や差異点を整理することができるようにする。

個人が見いだした問題を集約し、学級全体で探究する問題としていく際には、子供一人一人が何に着目したのか、共通する考えを整理する。

➡「令和7年度【小学校理科】報告書」



中学校理科

- 「日常生活や社会と関連付けて知識を概念として理解すること」が良好な結果であった。
- 「考察をより確かなものにするために、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を説明すること」を、授業において実現していく必要がある。

中理課題 2 (1) 考察をより確かなものにするために必要な実験を選び、予想される実験の結果を記述すること。



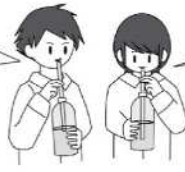
中理問題へ

正答率 浜松 20.3% 全国 14.0% 無解答率 浜松 2.6% 全国 1.9%

問題の概要

考察をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を説明する。

ストローを上下に動かしたら音の高さが変わりました。

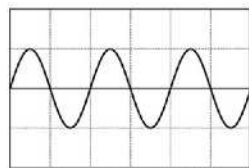


ストローの中に息を吹き込むと音が出るのは、ストローの中の空気が振動したからだよね。

音の振動の様子をオシロスコープで調べてみよう。

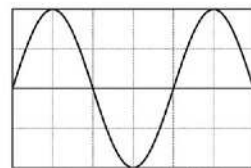
【実験】「ストロー内の空気が入る長さ(——— の部分)」を変えて実験を行ったときのオシロスコープの波形を観察しました。

実験1



オシロスコープの波形

実験2



オシロスコープの波形



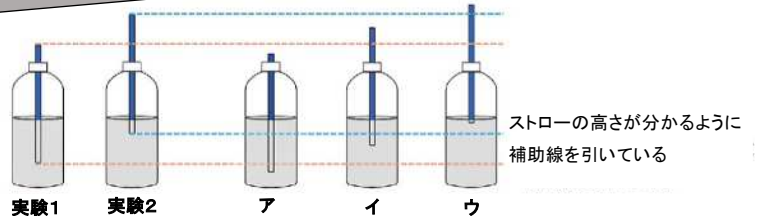
下のように【考察】しました。

【考察】

「ストロー内の空気が入る長さ(——— の部分)」が、長くなるにつれて、音はだんだん低くなる。



【考察】をより確かなものにするためには、あと1つ実験を行うとよいですね。右のア、イ、ウのどれで実験を行えばよいのかな。



ストローの高さが分かるように補助線を引いている

下線部について、【考察】をより確かなものにするために1つ実験を追加するとしたら、上のア、イ、ウのうち、あなたはどの実験を選びますか、1つ選びなさい。上のア、イ、ウのどの実験を選んでかまいません。また、上で選んだ実験を行ったときに、オシロスコープの波形から何が分かればよいのか、振動数という言葉を使って書きなさい。

正答例

〈ウを選択して〉
実験1、2より振動数が少ないことが分かればよい。

考えられる誤答例

〈ウを選択して〉
振動数が少ない。

誤答例の分析と課題

ストロー内の空気が入る長さ、発生する音の振動数の関係について、実験1、実験2の結果と比較した表現で記述することができていない。

授業改善のポイント

観察・実験によって得られた結果を分析・解釈して考察した後に、さらにどのような検証を進めると自分たちの考察がより確かなものにするか考える場面を設定する。

➡「令和7年度【中学校理科】報告書」

